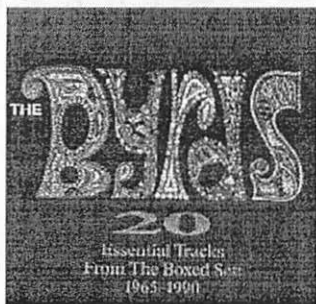


オリジナル・バーズが90年初頭再結成されて数曲新作を録音したその中に、何とP・F・スローンの「孤独の世界」が入っているという。単行本でしかも著者はフォーク界では名だたる人の記述を数年前に目にした。スワッ、遅ればせながら何とかそのCDを聴こうと思ったが限定のボックスセットはなかなか手に入らない。そうこうしているうちに違う話も聞こえてきた。「From a Distance」というのは同名異曲というのだ。結局ベット・ミドラーが歌っての90年全米2位のヒット、グラミー賞にも入った有名曲というのが実際のところであった。競作か、他にジュディ・コリンズも歌っているという。そう言えば60年代初期までのフォークソングは競作が常であった。オリジナル(個人)にこだわる歌なんてつい最近の現象、よい曲は皆でどんどん歌ったほうが楽しかった。

ようやくバーズのCDがオムニバスながら手に入りさっそく聴き入る。「フロム ア ディスタンス」とは遠くから眺めてごらん、地球は一つ、人類は仲間といった言い尽くされた内容で「孤独の世界」とはまったく別だが、紆余曲折の末再びジョイントした生き残り3人ならではのハーモニーとメロディには特別の感慨が…。4番目の鳥人クリス・ヒルマンのいぶし銀の選曲、歌と素朴なギターの伴奏もよく、まさに好ましきバーズの再現であった。一方ベットのほうはさすがに80年代以降の女流ポップス然として歌唱力抜群、プロデュースもあのピージーズを蘇らせた大御所アリフ・マーディンならではの贅沢さ。好き好きだが、何の分野でも素朴、純真、無垢の「初心」がよいのでは。

♪ from a distance, the world look blue and green・・・何かで聞いたことあると思ったら「莊子 逍遙遊篇」に出てくる「大風が天翔けて下界を見ると、大空の青々とした色に見えているに違いない」の意に通じるではないか。そこに万物斉同の世界が広がる、と思えばサイケデリックなバーズのロゴ BIRDS イコール大風 に見えてくるのはアラ不思議。



ESSENCIAL TRACKS / BYRDS 1990



SOME PEOPLES LIVE / BETTE MIDLER 1990

トークアバウト・・・とは、「・・・の話なら」、「・・・っていえば」から「最高の・・・!」とか「すごい・・・!」という意味に転じる はなし言葉です。文化の様々な面について考えている建築家を中心とする方々のエッセイ、いずれはきっと建築設計と結び付く「とっておきの話」となることでしょう

平成12年3月号  
2000年3月11日発行  
JIA近畿支部住宅部会  
代表世話人 小南一郎  
編集長 星野康彦 編集 市居博

### 執筆者連絡先

- 市居博 (いちい・ひろし) 市居総合計画事務所・芦屋市船戸町9-7 TEL 0797-32-8554
- 彼末れい子 (かれすえ・れいこ) 坂倉建築研究所/橋本健治・大阪市西区京町堀1-15-7 TEL 06-6443-0021
- 小南一郎 (こみなみ・いちろう) 小南一郎建築研究所・大阪市淀川区西中島4-4-25-1012 TEL 06-6303-0563
- 橋本修英 (はしもと・しゅうえい) アーキテック・芦屋市大原町28-1/バルティ芦屋4F TEL 0797-22-9082
- 林進 (はやし・すすむ) 岐阜大学農学部教授・TEL 058-230-1111
- 星野康彦 (ほしの・やすひこ) 寺崎興発建築士事務所・大阪市阿倍野区阪南町テラスキビル TEL 06-6622-8627